

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 31 日

香川県知事 殿



提出者

住 所 香川県丸亀市飯野町東二 504 番地
氏 名 松永工業株式会社
代表取締役社長 松永 進
電話番号 0877-22-6051

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松永工業株式会社
事業場の所在地	香川県丸亀市飯野町東二 504 番地
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

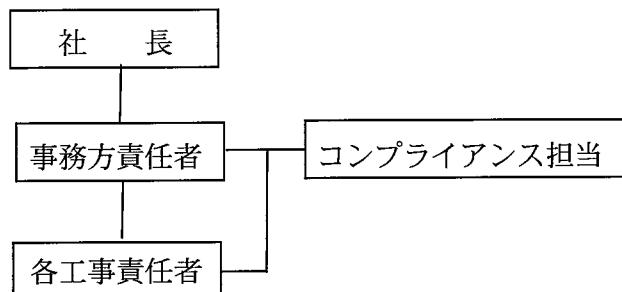
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 723 百万円 (前年度実績)
③ 従業員数	16名 (2023.3.31現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>廃棄物の発生</p> <p>分別</p> <pre>graph LR; A[廃棄物の発生] --> B[分別]; B --> C[自社運搬]; B --> D[委託運搬]; C --> E[中間処分]; D --> E; E --> F[最終処分]; E --> G[再生]</pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

① 現状

(これまでに実施した取組)

1. 可能な限り再資源化施設の活用等を実施している。
2. 建設工事の計画、施工段階において、可能な限り廃棄物の発生が抑制されるよう努めている。

【目標】別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

② 計画

(今後実施する予定の取組)

コンプライアンス担当を中心に廃棄物の処分及び清掃に関する法律等、関係法令にかかる社員教育を実施するとともに、現場における履行及び厳守状況の確認を徹底することで、適正な産業廃棄物の排出及びその抑制に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

分別している産業廃棄物の種類は別紙のとおりであり、他の廃棄物と混同しないよう分別することで適正な搬出・処分を徹底している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

今後分別する予定の産業廃棄物の種類は別紙のとおりであり、他の廃棄物と混同しないよう分別することで適正な搬出・処分を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を委託できる業者と書面による契約を締結しており、可能な限り再資源化施設へ搬出するよう努めている。			

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
(今後実施する予定の取組) 当社が搬出する産業廃棄物は公共土木工事により発生するがれ き類が大半を占めており、その受注によって排出量が大きく左右され るため、削減数値目標の設定は困難であるが、可能な限り再生利用業 者への委託処理を実施する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(単位: t)

1. 【前年度（令和4年度）実績】産業廃棄物の種類別排出量

排出量	産業廃棄物の種類											
	コンクリートがら	アスファルトがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型）	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物
自ら再生利用行った産業廃棄物の量	1164.990	665.770	38.500	1.910	2.290	8.720	1.200	11.050	33.810	2.340	0.840	0.000
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量												
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量												
全処理委託量	1164.990	665.770	38.500	1.910	2.290	8.720	1.200	11.050	33.810	2.340	0.840	0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	35.850	1.910	0.210	8.720	0	0	0.000	0	0.840	0
再生利用業者への処理委託量	1164.990	665.770	2.650	0	2.080	0	1.200	11.050	33.810	2.340	0	0
認定熱回収業者への処理委託量												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量												
											総排出量	1931.42

2. 【目標（令和5年度）】産業廃棄物の種類別排出量

(単位: t)

排出量	産業廃棄物の種類											
	コンクリートがら	アスファルトがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型）	石綿含有産業廃棄物	建設汚泥	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物
自ら再生利用行う産業廃棄物の量	1109	630	34	2	4	11	2	8	40	1	4	1
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量												
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量												
全処理委託量	1109	630	34	2	4	11	2	8	40	1	4	1
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	12	1	3	11	0	0	6	0	1	0
再生利用業者への処理委託量	1109	630	22	1	1	0	2	8	34	1	3	1
認定熱回収業者への処理委託量												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量												
											総排出量	1846